

Heroldo de HEL

N-ro 129

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

Aprilo 2010

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- 表紙、Enhavo/目次 P. 1
- Frusomera Kunloĝado de Hokkajdo 2010
- /2010年北海道初夏エスペラント合宿/HEL
- For malbona lernonaniero/ 要領の悪い学習法に固執するのは P. 3
- やめましょう/Betululo(KABAYAMA Yūsuke)/ 樺山裕介
- Vojaĝo tra la mondo per Pasporta Servo/Pasporta Servo P. 9
- による世界旅行/Ges-roj Kagaya (加賀谷義治・加賀谷幾子)
- Vojaĝplano/旅程/La red. P.13
- Danke ricevitaĵoj -受領郵便物- (星田淳 扱い) P.14
- Ĉu ni povos trovi "ian medikamenton, kiu ridigas nin laŭte"? P.16
- /われわれを大笑いさせるような薬を見つける事が出来るかな?
- /Haruhisa Sirahama/ 白濱晴久
- [第3回委員会報告] Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido P.19
- [編集後記/Redaktanto parolas ...] P.20

Frusomera Kunloĝado de Hokkajdo 2010

2010年北海道初夏エスペラント合宿

HEL/北海道エスペラント連盟

今年も苫小牧の柴田さんのご好意により、札幌の柴田内科循環器科研修センターをお借りして、合宿を開催する運びとなりましたので下記の通りご案内申し上げます。

記

名称：北海道初夏エスペラント合宿

主催：北海道エスペラント連盟

場所：札幌市西区西野1条7丁目 柴田内科循環器科センター

交通：地下鉄東西線宮の沢駅下車、5番出口を出て「西友」「ちえりあ」前を

過ぎ直進、左側の「ローソン」の前の角を左に曲がって進むとやがて右側に研修センターの看板が見えてきます。宮の沢駅から徒歩10分程です。

期間：6月5日（土）13時～6日（日）12時

内容：入門コース（初めてエスペラントを習う方）講師：星田 淳

初級会話コース 講師：樺山 裕介

中級会話コース（エスペラント文法をほぼ完全に習得されている方）

講師：Sergej ANIKEJEV

日程：6月5日（土）

13：00から13：30受付

13：30合宿についての説明後、直ちにコースに分かれて学習開始

17：30学習会第一部の終了

* 但し、参加者の希望により適時休憩を挟みます。

18：00夕食

19：00学習会第二部の開始

20：30学習会第二部の終了

以後は自由時間です。

この時間に 2012年の日本エスペラント大会の

LKK（組織委員会）の第1回（顔合わせ）会合を予定します。

6月6日（日）

7：30朝食

8：30学習会第三部の開始

11：30学習会第三部の終了と感想並びに意見交換

12：00全日程終了、解散

13：00 北海道エスペラント連盟 委員会

参加費：

宿泊 1500円（朝夕の食事と菓子・飲み物代を含む）

日帰り 500円（夕食代と菓子・飲み物代）

資料代 1000円

申し込み：講習資料・食事の用意の関係上、参加される方は必ず下記に連絡を下さい

川合由香（北海道エスペラント連盟事務局長）

072-0016美唄市東5条南5丁目2-21

Tel./Fax: 0126-62-4636

E-mail: nordano@sea.plala.or.jp

または、

阿部 映子（連盟研究教育部担当）

Tel.: 011-271-8908

注。日程等詳細については当日開始時点において少々変更がある場合があります。

For malbona lernonaniero

要領の悪い学習法に固執するのはやめましょう

Betululo(KABAYAMA Yūsuke:kabajama juusuke)/樺山裕介

Mi vidis, ke rondanoj legas libron cirkle. Esparenta voĉo tute mankas krom tiama leganto en sia vico. Kiam ili trafas nekomprenejaĵojn, ili diskutas konsultante E-japanan vortaron. Multaj el ili ankoraŭ ne povas bone interparoli en E. Ĉu tia lernado bone faros ilin esperantistoj, kiuj povos komuniki alilandanojn? Mi opinias, ke tia lernostilon influis la intruimaniĝo de anglalingva kurso en lernejo en Japanio. En 19a jarcento por la japania progreso necesis bonaj legantoj de okcidentaj presaĵoj. Tial en Japanio la edukado de fremdlingvoj okupis nur legado de tekstoj eĉ ĝis lastatempe. Krom tre tre malmultaj japanoj, japanoj ne povas komuniki alilandanojn per la angla post sesjara lernado en lernejoj.

Mi volas averti, malkateni kaj kuraĝigi tiajn esperantamantojn for de malmoligita ideo pri la lernado de fremdlingvo per mia sekvanta japanlingva artikolo.

みなさん、エスペラントの音読をしているでしょうね。えっ、していないんですか？ それは、いけませんよ。この記事を読むのを一時中断して、辞書の例文でも教科書でも、読みかけの本でもパンフレットでも、このHeroldoのなかのエス文記事でも何でもいいですから手に取って、今、すぐに、大きく口を動かして音読してください。dekstra (右)は「デクストラ」ではありませんよ。「デエEkst(巻き舌の)ラア」ですからね。「左」は「マア1 デエEkst ラア」ですね。

入門～初級講習を受けているAoさんは、教本やプリントに出てくる数ある単語のすべてを、おろそかにせず、完璧に覚えようと努力します。文についても、腑に落ちないところがあれば、先生が納得のいく説明をするまで食い下がります。自分が納得できなければ先へ授業を行かせません。テキストに出ているエス単語や文は、すべてていねいに日本語に訳されてノートやテキストに完全に書き込まれています。

いっぽう、Aoさんと同じ講習を受けているBoさんは、どうも、自分が興味のある単語だけしか、まじめに覚えようとしないようです。文法用語さえ、どうもよく理解していないらしく、でたらめなエスを、周りの空気も読まずにしきりに話しかけては、面白がっているようです。Aoさんは、決まりきったあいさつことば以外は、失敗するかもしれないので、決して自分からは口にしません。間違いを指摘されると、Aoさんであれば恥辱に身を震わせるのに、Boさんの場合は、か

えって本人が自分の間違いを面白がって喜んでいる始末です。

すると、まじめなAoさんは、ふざけたBoさんを尻目に、真のエスペランティストになるでしょうか？

逆です。近い将来エスペランチストになれるのは、不真面目なように見えるBoさんの方です。Aoさんは、自分を変えない限り、いわゆるEterna Komencanto すなわち「永遠の初心者」のままで一生を終えるでしょう。これは、手段と目的を取り違えたうえに、自尊心の殻に逃げ込んだまま、己の殻を破る勇気の無いAoさんの自業自得です。Boさんは大きく先の世界を想って、優先順位を決めていました。めざすは地球に広がっているエス世界です。そうでなければ世界語エスをやる意味がありません。講習は、そのための踏み台であると割り切っていました。いっぽう、Aoさんは教室の日本人どうし閉鎖小集団での、内向き優等生に終始したのです。

AoさんもBoさんも、6年間も学校で英語の授業を受けてきましたが、ふたりとも英会話ができません。Aoさんにとって、外国語学習とは、和訳や作文の定期試験で、長い英文が書かれた教科書と、それを和訳したノートを覚えて、高い点数を取ることでした。英語は聴き取れないし話せないけれども、それは英語が難しいからで、易しいエスならば英語の試験勉強と同じやり方で、できるようになると信じています。

いっぽう、Boさんは、旧文部省、現文部科学省以下、教師と生徒たちの末端に至るまで、根本的にやりかたがずれていたから、高校を卒業しても、自分も他人も全く英語ができないのだと思っています。英語国の市民でさえ読むのが難しい英論文を読まされているのに、簡単な会話や聴き取りもできないという、現場で使えない受験優等生の仲間入りをするのがアホらしくてなりません。むしろ英語をやるなら民間の英会話教室のほうが自分の方向性に合っているのだらうなと考えています。Boさんの友人Coさんいわく、幕末から明治にかけて列強の仲間入りをするために洋書翻訳に力を入れた国策教育を、時代が変わった現代までも惰性で引きずっているのだそうです。最近が変わってきたようですが、定年後にエスを始めたAoさんの世代は、旧式の教育しか知りません。

Boさんは「1月、2月、・・・」にあたるJanuario, Februario...を、入門教科書には必ず出てくるにも関わらず、なかなか覚えようともしませんでした。la unua monato, la dua monato で代用が効くし、合理性からいっても、そうあるべきと考えたからです。そこで、unu, du...cent, milの方を覚えることを、がんばりました。代用は効かない、どこでも出てくる、それが数詞ですから、12個ある長ったらしい月名を覚えるより、覚えがよい、実用性もありました。

AoさんとBoさんは「エクスプレス・エスペラント語」という教材で勉強を始めました。楽しく学べるように笑える小咄仕立ての対話が例文になっていました。著者は話を面白くするためのセリフを作るのには基本単語だけでは間に合わな

かったようで、「Zoologio 動物学」という単語ができました。Aoさんは、この単語をも覚えなければと、がんばって覚えました。Boさんは、こんなめったに出てきそうにない高等単語は、作者が話を面白くするためだけに使った調味料だとわかったので、主食を食べなければならないときに、調味料などかまっていられないとばかり、ひと笑いしてうっちゃっておきました。Boさんは、ネタよりもネタで味付けされた覚えるべき文法のツボをおさえると、次に「動物」をエスで何というのかが気になり、さらに植物をも含めたもっと広い「生き物」をエスで何なのか気になりました。「雨」という単語を見て、雨は水でできているから、「水」という単語の方が大事だな。そういえば「水」から「雨」以外にも「氷」「蒸気」「雪」「雲」「川」「海」ができるな。これら水の仲間をエスではどういうのだろう?・・・という発想ができるかできないかが要領を左右します。一生に10回出会うだろう単語より100回出会うだろう単語、100回出会うだろう単語より1000回出会うだろう単語、1000回出会う単語より10000回出会うであろう単語に、脳細胞の限られた力を費やしたほうがいいに決まっています。たとえば、「ぼんのくぼ」「アキレス腱」という単語を「手」「頭」より先に覚えるのは、ばかばかしいでしょう。だから、入門者にいきなり、分厚い辞書や教材を押し付けるのは、ミスリードです。プレッシャーで押しつぶされた生徒さんもありました。そうでない初心者も優先順位を見失います。ほんとうに大切な単語だけにしぼった薄くて文字が大きな基本単語集だけでいい。できれば図解本がいい。入門は基礎を固める段階です。辞書は、初級に入ってからで充分です。

(秋田の後藤文彦氏は、ホームページで、西洋人が無秩序にエスに持ち込んだ学術用語などの高等語根は、平易な基本語根の組み合わせで置き換えるべきだという主張をしています。この意見は当の欧州人たちにも聞いてみたところ、そのとおりだという答えの方が多かったそうです。もちろん私も同意見です。)

文法を苦手とするBoさんの座右の銘は、「今、わからなくても、いつかきっと、わかる日が来る。それで、いいじゃないか。」です。「わからないけど、何かそうである理由があるからそうなんだろう。それでかまわないから先に進みましょう」Boさんとて、いつまでもわからないままでいいとは思いません。しかし、日本人に生まれ、日本人の思考回路のなかにどっぷりつかってきた自分が思考回路を変えるのには、一回ですむものではなく、パターンの積み重ねのなかで概念を実感していくしかなかろうと考えています。それまでは試行錯誤を重ね、わからないものはわかるまでわからないまま、そんなものだとか心に止めておくしかない、腹を決めているのです。

Boさんは、すでに己を相対化する心の準備はできています。無意識に常識だと思いつけていたことが、非常識だった。民衆交流では必ずあることです。しかし、それは、ことばにならないことが多い。その説明につかわざるを得ない日本語が、すでに日本語自身に束縛されているからです。だから、エスについて日本

語による解説も限定されたものにならざるをえません。エスに対応する日本語が1対1で存在するわけがないのです。エスはエス、日本語は日本語で別世界を作っているのです。「エスとしてわかる」までは宙ぶらりんも、やむをえないのです。そのくらいの心の余裕を持ちましょう。そして別の有意義なことに精を出した方がいい。

Aoさんは、なにがなんでも、日本語的に解釈しないと不安なのです。これは、民際交流における相互の相対化、中立空間の精神に反することです。ここで無理に日本人流に解釈して近いもので結論とすると、その近似値にすぎない仮の結論を絶対化してしまい、他民族の人ととともに交流できなくなります。これは、エス和辞書の記述を絶対視する人に多い落とし穴でもあります。Partopreniを辞書で引いたら「参加する」だから、partopreni al とやってしまう間違いなどが、そうです。見たまんま素直に、部分parto を取るpreni というイメージができていけば、enに決まっているでしょう。「で部分を取る」です。大会の一員となる、100 のなかの1 の空間を取る、100 ある席のひとつを取って座ることです。日本語の「参加」の発想とちがっていると文句をいっても、それは日本語のほうの勝手な都合で、エスに文句をいうのは筋違いです。どうしても「参って加わる」からalにしたければ、alig`iがあります。エス和辞書の日本語は等号＝ではなく「強いて日本語で言うならば」だと解釈してください。ちなみに私は、エス和辞書を持っていません。もっぱらエスエス辞書を使っています。日本語で何なのかわからなくても平気です。イメージや概念、正確な意味がしっかりしているからです。エス界で生きるには、そちらの方が大事です。エスエス辞書を引いても、それでもよくわからないものは、「あせらなくても、いつかそうだったのかとわかる機会が来るだろう」と、だいたいのイメージで済ませています。

エスは、一次的に「聴く」「話す」「読む」「書く」であり、二次的に「歌う」「翻訳する」「通訳する」「創作する」「教える」「活動する」などになります。

「読む」だけに専念したいとか、例えばネット環境で「書く」ことだけに専念したいとか、「歌う」だけ、「教える」だけ、「翻訳する」だけ、はたまた「研究するだけ」という意志をもっている人がいれば、否定しないで尊重します。実りをエス界を通じて世界に寄与しようとしているのですから感謝したいくらいです。ただ、ここにおいては、エスの一次機能「聴く」「話す」「読む」「書く」能力を身につけて、世界のエスペランティストたちと応答しあえるエスペランティストになりたいと思う読者のみを対象とさせていただきます。エスの門をたたいてくれた人たち、特に若い人たちは、ほとんどがそうであろうからです。その人たちを迷わせたり、失望させたくないのです。

Aoさんは「読む」エス文和訳をやっていれば自然と残りの項目もできるようになるのではないかと、ばくぜんと思っています。甘い考えです。

まず、その「読む」ですが、Aoさんは、正確で適切な日本語の文章を一生懸命探しているうち、エスで苦勞するよりも日本語で苦勞する時間の方が多くなってしまいました。

Boさんも、Aoさんと同じくエスをやることで、かえって自国語の難しさに気づきましたが、彼が講習に來た目的は、日本語ではなく、あくまでエスです。まずエスが急務ですので、意味が実感としてわかれば良しとして、日本語訳はパスして先へ進みました。その結果、Aoさんの何倍もの量を読むことができ、より多くのエス文章に慣れていきました。はじめは齒が立たなかったエスの羅列も、数をこなしたおかげで、自然と意味を持って目に飛び込んでくるようになりまた。上級者ゆえにできる文学作品の翻訳は、してみたいと思うけれども、まだ無理なので、将来、エスと日本語の両方の文章能力がもっと上になってからやりたいことのひとつとしてとっておくことにしました。

Boさんは「聴く」は聴くことをしないと、「話す」は話すことでないと、「読む」は読むことをしないと、「書く」は書くことをしないと、できるようにはなれないと思っています。（なお、音読は、これら以前の必須基本科目です。）だから、あらゆる機会を使って話そうとし、間違いを指摘されると、その瞬間に、取るにたらない恥をかいたことと引き換えに、正されたことで上達できた変化を実感して喜ぶのです。まちがったエスを話すことはやましいですが、向上のためなら許されます。まちがいを恐れて話さないことはもっとやましいのです。

「聴く」訓練は、カセットテープかCDの教材を、何度でも繰り返しわかるまで聴くのが良いでしょう。Liza kaj Pau^{lo} やレザ・ヘイルハーさんが作った Najtingalo シリーズ、アニメ Mazi en Gondolando などがおすすです。先生に同じ文を繰り返ししゃべってもらう手もありますね。

「話す」ことの産みの苦しみから逃げてはいけません。ここでは正確さは後回しで、勇氣とねばりが優先されます。発想の転換の試行錯誤です。初級者である段階で、誘われて、カワハラカズヤさん、富田美奈子さん、後藤丈次さん、佐藤英治さんと、札幌市北区の喫茶店ひらひらで、毎週のエス会話の集いに参加していたことを思い出します。ほとんど Jes か Ne しか言えず、他のことは、どのように言っているのかわからず、ウンウンとうなっていたばかりでした。頭に浮かんだ単語をばらばらに言ってみるしかない。はずれていることはわかっているが、なんとか察してくれまいか。日本語で言えば一言で終わることが、いろいろなエスもどきで言ってみても、なかなか通じない。もどかしい。時間がかかる。このもどかしいあがきが必要なのです。必要不可欠な産みの苦しみなのです。（音読は安産体操です。）その結果、たとえ10回連続で意思疎通に失敗しても、1回でも意思疎通に成功すれば、エスペランティストになるための貴重な進歩です。さらに、そこまですら及ばず失敗だけで終わってしまったとしても、失望すること

はありません。あなたの脳細胞の奥には次の成功につながるための芽吹きが確実に生まれています。とにかく、ここで日本語に逃げてはもとの木阿弥です。あなたはEterna Komencanto 永遠の初心者への甘い誘いに乗ってしまったのです。琵琶湖のほとりで、若手中心に合宿をしたときも充実していました。私より優秀な年下の大学生たち相手に、乏しい己なりのエスで、いっぱいいっぱいになりながら答え、話しかけることで能力を引き出してもらいました。日本語を許さないエスだけの合宿だから、できたことです。

「書く」練習は作文をして添削をしてもらうことになりますね。こちらは正確さを鍛える練習です。そのいっぽうで、ひとつのことを表すのにも、ルールさえ守ればこそエスではいろいろな表現のやりかたが可能であることがわかれば、甘口なり辛口なり好きな味で料理するエスの楽しみが広がるでしょう。

入門講習を終え、初級に入ったら、例えば2 時間あれば、30分ずつ「聴く」「話す」「読む」「書く」に使う講習が理想ではないでしょうか。

この物語はフィクションです。Aoさん、Boさん、Coさんは架空の人物であり、実在の人物とは、いっさい関係がありません。

0 Voĉlegu.

1 Prefere lernu pli bazajn vortojn kaj postlasu malpli bazajn en unua etapo.

2 Ne staru tro longe en analizado de nekomprenejo. Trankviligu, iam postatempe dum via lertigo vi certe komprenos. Ĉu vi estas malkontenta?

Okupigu pri aliaj pli esencaj valoraroj.

3 Volu farigi lerta pri la kvar funkcioj de Esperanto egale ; "Aŭskulti", "paroli", "legi", "skribi".

4 Eĉ kiam nur japanoj estas en esperanta rondo, Esperanto estas ĉeflingvo kaj la japana lingvo estas helplingvo.

5 Malamiko kontraŭ lingvolernado estas hontemo/hezito.

0 音読しましょう

1 覚える単語は、より基本的なものにしばっていきましょう。常に単語の基本度のランク、頻度のランクを考えましょう。残りは、後に縁なり必要性なりがあれば、そのとき改めて覚えればいいのです。

2 わからないことには、くよくよ悩まずに、やっていたら、いつかわかる日が来ると割り切って、先へ進みましょう。

3 「聴く」「話す」「読む」「書く」の4つを等しくできるようなエスペランティストになろうと意識して努力配分しましょう。

4 エスでは日本人同士であってもエスが主で日本語が従です。日本語は、どうしてもやむを得ないゆえの補助語にすぎません。

5 語学の敵は羞恥心です。自分を変えましょう。殻を破りましょう。

加賀谷夫妻(札幌)のブログのほんの一部ですが紹介します。--- La red.

2月24日 パスポルダ・セルボ(ホームステイ)第一夜 —



2月24日 パスポルダ・セルボ(ホームステイ)第一夜

5時にロジャーの経営する不動産会社に行きました。3部屋もある広い事務所で、奥さんのオルガが事務をやっているらしく、2人で迎えてくれた。すぐ事務所を閉めて彼らのマンションに向かった。地下鉄の終点で新開発の街だった。縦横のまっすぐな道路で、道路わきは駐斜帯になっていて、車がずらっと並んでいました。マドリドでは道の両側に駐車しますが、車と車の感覚がすごく狭く、車を出すときはバックして後ろの車にぶつけて、今度は前の車をこすって平気で出て行きました。日本であんなことしたら、車を試す眇めて『傷を着けた。修理してくれ』と文句たらたら言われるところだと2人で笑いました。ロジャーの自己紹介文に『料理が好きです』と書いてあります。2人から『料理は好きか?』と聞かれて『好きです』と答えると『どんなりようり?』と聞かれ、幾が思わず『餃子』といったら『それを作って』となり、早速大きなショッピングセンターに4人で行って食材を買ってきました。こう書くと会話がスムーズに交わされてるように読めますが、実際は、「私たちが持っていた日本語エスペラント辞典を私が持ち、彼らはエスペラント語日本語辞典を持ち」結っても分からないところは辞書をせたり、紙に書いたりして、彼らも辛抱強く会話してくれました。31歳と大変若く、71歳の年寄りと話をするのは苦労したと思います。さて台所に立つと幾子の大活躍で、餃子を作りながら彼らに教え彼らも真剣にメモしたり写真を撮ったり、餃子を包む練習をしたり、台所外交(社交)を盛んに繰り広げました。一緒に料理を作ったことで雰囲気は和やかになり、食卓に4人座って、またたどたどしい会話を第1夜は終わりました。

2月25日 パスポルダ・セルボ(ホームステイ)第2日 —



2月25日 パスポルダ・セルボ(ホームステイ)第2日 彼らは仕事なので、私たちはブラド美術館に行きました。先日来たときは、すごい長い行列で、入るのをあきらめて帰りましたが、今日は10時に来たせいかすぐ入れて、ゆっくり鑑賞できてうれしかった。私は美術が好きで、昔は厚くて高い美術全集を買ってましたが、今は80インチのハイビジョンテレビで美術番組をよく見てます。『美術作品は、今はテレビで見る時代だ』と
思っていましたが、やはり本物の迫力はすごく、また大変大きく、やはり1度は本物の前に立たなくちゃ』と大満足です。先日行ったティッセン。ボルネミッサ美術館もブラドも大変広いのでゆっくり見て歩いても疲れて1日仕事です。さてまた5時に事務所により、今度は『手巻きすしとラーションサラダ』の材料を買い、キッチンで4人入り乱れて作りました。その後、彼らのアルバムを見ました。ロジャーは、音楽プロデューサーやデスクジョッキーもやっていると言うことで、浜崎あゆみの歌や宮崎はやおアニメを見せてくれました。私たちは、初めてのパスポルダ・セルボ体験ですごく緊張して行きましたが、彼らの暖かい接待に楽しい2夜を過ごせました。感謝！感謝！

2010/02/26 21:21



3月12日 2回目のパスポダ・セルボ(ホームステイ) グラナダ発9:45分の汽車でシウダレアル14時26分に着く。ラウルが駅に車で迎えに来てくれました。私たちは、緑色のエスぺラントの旗を持って降りたので、彼もすぐ分かってくれました。平日の午後なので、「仕事を休んでくれたのかな」と気にはなりましたが、ラウルは「ぜんぜん心配しないで、休みだから」と軽く答えてくれたが、本当はどうなのか分かりません。彼は35歳なので、2人で『結婚してるのかな。もし子供が居たら「かわいいお子さんですね」ってエスぺラント語で、何と言えればいいのかな』などと考えて行きました。彼のマンションに行き荷物を置いて一服すると、彼が『近郊にアルマグロとダイミエルという良い所があるので今日と明日案内したい』と言ってくれます。『あなたは忙しいでしょうから、私たちは行かなくてもいい』と答えたのですが、彼が『ぜひ行こう』と言うので、早速アルマグロに行きました。アルマグロは『アーケードのついた建物に囲まれたマイヨール広場は、スペインでも有数の美しい広場として知られている』と、何かで読んだことがあり、『行って見たいな』と地図に赤丸をつけていたところなので、彼にその地図を見せて『私は前から行きたいな』と、思っていたところなんです』と行ったら彼も喜んでくれた。彼に家族のことを聞いたら『両親は、どこそこに居る』と言うだけだし、家の中の感じも独身みたいなので、幾子が『料理を作りたい。台所を使っていいか。食料品店に案内して欲しい』と言ったら、彼は『友達と4人で食べよう』と言うので、大きなスーパーに行って、食材を買い込み、『スープ、サラダ、野菜炒め、てんぷら』を作りました。『友達』と言うのは、『トレドから来てかれの家から大学に通っている若い女性』のことだった。幾子は『友達が4人来る』と勘違いして、料理をたくさん作ったが、彼ら2人は『おいしいおいしい』と、びっくりするほどたくさん食べてくれた。食後は、お互いに辞典を片手にぼつらぼつらエスぺラント語で会話した。『明日はどうするのか』と聞かれ、ラウルに付き合わせるの悪いから、『市内を2人でぶらぶら歩きたい。』と答えると、市内地図を出してきて、こう歩いたらいいですよ。と線をつけてくれた。「11時半に出発して2-3時間あればゆっくり見えます。自由に出入りしてください。」と家の鍵を渡してくれた。

2010/03/21 05:04

3月13日 パスポダ・セルボ(ホームステイ)2日目 —



3月13日 パスポダ・セルボ(ホームステイ)2日目 市内散歩から帰ってみると、ラウルが『私の好きなところがあります。広い湖があり、自然が豊かですばらしいところです。ダイミエルという景勝地です。夕日がいなところだから、さあ行こう』と誘われ、また彼の車で出かけた。彼の言うとおりに、多くの市民が家族ずれで来ており、二義あっていた。真っ赤な夕日が徐々に沈んでいき、すばらしいところであった。帰ってきてから、彼から『近所にいいレストランがある。食べに行こう』と誘われたが、遠慮して『2人で食べに行くからいいです』と断ったら『どうして自分と行くのがいやなのか』と問われたので、『そうじゃない。あなたに迷惑を掛けたくないから』と言いたいのだが、エスペラント語でどう言えばいいのかわからない。スペイン語は勿論話せない。困茶って、結局行くことになった。夕食に出かけたのは9時半で「スペインでは、夕食は普通何時からなのか」と聞いたら、何と『10時から』と言う答えです。近所のイタリアンレストランに行ったが、テーブルが何十もある大きな高級レストランで、入った時は、まだすいていたが10時半を過ぎるとお客さんでいっぱいになった。お客さんは美しく着飾り、家族ずれもどんどん入ってきます。スペインの食生活は、朝はパン、ハム、チーズで軽く食べ、2時から4時までには「シェスタ」といってゆっくりたらふく食べて、一休みするそうです。実際、商店はこの時間軒並み閉まっていて、人どうりも極端に少なくなります。4時過ぎからひと働きして、夕方はバル等でビールワインを飲みながら軽く食べます。見てると、女の人にもよく飲んでいます。軽く腹ごしらえと言うところでしょうか。そして9時過ぎから本格的なディナーが始まります。スペインでは一日4度食べてることになりますね。

2010/03/21 05:05

パスポダ・セルボ(ホームステイ) —



3月14日 パスポダ・セルボ(ホームステイ) シウダレアル10時32分
発マドリド着11:28. 今日は日曜日なので、ラウルに『タクシーで行くか
ら、寝てていいですから』と何回も言ったが『どうしても駅まで送って行く』
と言ってきて、結局駅まで送ってもらいました。最初のパスポダ・セル
ボのロジャーも今回のラウルもそうだが、『まったくの初対面で、日本か
ら来たエスペランチストが、泊めてくれと来ただけ』なのに、こんなに歓待
してくれるのは、彼らの人柄がよいのは勿論のことだが、『同じ言葉を勉
強しているエスペランチスト通し』と言うことで、見ず知らずの私たちを歓
迎してくれて本当に感激しました。

2010/03/21 05:06

V o j a ğ p l a n o / 旅程

La red.

1月26日札幌発デリー(インド)へ、1\27, 28 ニューデリー、デリー
1\30 アーグラ(タージマハール)、1\31 ジャイプール、2\2ウダイプル、
2\5ボンベイ ⇨カイロ、ピラミッドなど観光、
2\24, 25 マドリド(スペイン), Pasporta Servo (P.S.: エスペランチスト宅
に民泊)、⇨グラナダ 3\12 ⇨ Ciudad Real (シウダレアル)、
3\12, 13 P.S. 民泊、3\14 ⇨マドリド、バルセロナなどを経て
3\22 マドリド⇨ストックホルム(スウェーデン)、3\28 ⇨ロンドン、
4\5 ⇨シカゴ、⇨4\6 成田、札幌

当初の予定は世界一周220日だったが途中の体調などを考慮して短縮し71
日になったが楽しい旅行だったそうです。

*R0mazi Kenky0:2009年2月5日:第10号:日本ローマ字研究会(NRKK) A4 X16頁、日本語(ローマ字を含む) 大部分が2008年8月亡くなられた札幌の栃内和男さんの追悼、思い出。SES, HEL の会員だったのはだいぶ前のことではあるが。元JEI 理事Yamasaki Seik0の文には esperantisto が出ている。

*R0mazi Kenky0:2009年6月15日:第11号:NRKK発行、A4 X16頁、日本語。NRKK Kenky0 Taikai 2009 の記念講演の講師に KIRIKAE Hideo(切替英雄)の名がある。日本兵捕虜の学校「大同学園」連載中。

*R0mazi Kenky0:2009年12月10日:第12号:NRKK発行、A4 X12頁、日本語。巻頭の1926年の Hokkaid0 の地図を提供したIt0 Seiti(伊藤静致)さんは元HEL 会員。「ねばり強い楽道家周有光氏」は中国式ローマ字ピンインを制定普及した人のインタビュー記事。

*Novajoj Tamtamas:/ N-ro 246/februaro 2010, JER(Jokohama Esperanto-Rondo, Hama-Rondo)発行、A4X4頁、全文エスペラント(E.)。JER の新会長Sino AIDA Yayoiの一幕劇MALJUNULINO, KIU NAĜAS KIEL FIŜO が2頁分。

*La Tamtamo: 第418号, 2010年2月号, A4X8頁, JER発行、日本文。相田弥生新会長の挨拶、2009年度活動報告、

2010年度活動計画、読書会報告など。

*La Movado;関西エスペラント連盟(KLEG)発行,N-ro 709 marto 2010, B5 X20 頁のうちE.文3頁強。巻頭の「平和学からみたザメンホフ/寺島俊穂」は「エスペラントを平和構築語」と結論づける。「エスペラントとハンセン病/後藤斉」,Rakontaro Genji/Tacuo HUGIMOTO が連載中、Vortaro por Lernantoj/Laŭlum (小型 E-E辞典、短い説明文と4行詩で単語を説明する)は連載90回目に達した。

*Eskalo 第135号(2010年第1号)、2010年2月24日、川崎E.会、B5 X10頁、日本文。1月の総会報告、神奈川ザメンホフ祭(12月12日)、市民活動フェア(1月30日)の報告、ベトナム滞在中の臼田玲子さんの日記など。

*Al Vi Kara; N-ro 99, februaro 2010, Kioto-Esperanto-Societo, B5X 24頁のうちE.文10頁半。カラー写真は表紙両面に7枚、ほか黒白は十数枚。巻頭記事と写真は12月みやこめっせ(京都市左京区)で開催のボランティア・市民活動フェスタでの活動。広い会場、パネルの上に遠くからも見える目印の緑星旗を置いている。今号の特集テーマ・どの本が好きですか? の一人一人の説明がおもしろい。ABZ kiel gastigi (外人客の迎え方-TAHIRA

Masako) は、いつもながら大いに参考になる。Pri Utakartoludo en novjaro/KAWAGOE Ken は百人一首かるた取りの いい説明 (カラー写真付き)

*センター通信: 第261号, 2010年3月2日発行, 名古屋エスペラントセンター、A4 X10頁 (電子受信) のうちエスペラント(E) 文2頁弱、内1頁はLa Sonorilo de Nagasaki (長崎の鐘) の楽譜。10月の日本大会 (長崎) で歌いましょう、と編集後記が呼びかける。E文のもう一つは中国の HAN Yi からの Mia opinio pri Esperanto-Movado で中国での運動の変化と希望を語る。

* NOVA VOJO: N-ro 460 marto 2010, EPA (エスペラント普及会)、A5 X32頁中E文は4頁半。巻頭言「インドネシア語から見るエスペラント/松本公夫」は、この多言語多民族の国をまとめるために導入された学びやすい共通語・インドネシア語の成功はアジアのエスペラント運動の参考になる、と述べる。「モンゴルの大草原で大自然を満喫しませんか! / 吾郷孝志」は今年のアジア大会のPR。「歩行から言語へのバリアフリーへ(2) / 三好鋭朗」は中国との合併事業の苦労話。

*Ponteto/ (Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo: 関東エスペラント連盟)/ Marto 2010 N-ro 239; B5 X20頁のうちE文約5頁。Ni laboru kaj esperu/小林司 はこの言葉の

出典を調べたもの。連載中の Basyoo/Streta vojo —「おくのほそ道」は石巻から羽黒山まで。原文とエスペラント訳文。フランスの家庭料理/堀泰雄は1~2月現地を廻ってきた筆者の体験、おもしろい。群馬E会は9条の会と協力、平和を訴えるE文入り絵手紙を104枚UEAのDELEGITOJに送った。

*Novajoj Tamtamas:/ N-ro 247/marto 2010, JER発行、A4X4頁、全文E。1頁の Salutojは前、新- prezidanto と ĝenerala sekretario から。Nubo super la deklivo/YAMASAKI Seiko は「坂の上の雲」をめぐる論説。

*La Tamtamo: 第419号, 2010年3月号, A4X8頁、JER発行、日本文。1月の総会報告、無料セミナー、入門講習会予告など。

*受講生通信 第129号, 2010-4-01, 沼津エスペラント会, B5X12頁の内E文は半頁ほど。催物欄に北海道初夏合宿と北海道大会の予告。2012年の日本大会 (北海道) も出ている!

*Mejlstono: 2010 marto N-ro 218 仙台E会: B5X 10頁中E文は1頁半。6月の第30回仙台緑の合宿、11月の第51回東北E大会の予告、La urbo Daqing (大慶) en Ĉinio, Ĉina amiko 石成泰 SHI Chengtai。「佐々木喜善と宮沢賢治」は遠野物語を語った佐々木も賢治もエスペラントに関わりがあったことなど。

*La Movado; KLEG 発行、N-ro 710
aprilo 2010, B5 X16 頁のうちE.文2
頁半。巻頭記事は「第58回関西E大会
(6月、奈良)に参加しよう」。「長
谷川テル研究の課題」は惜しくも1月
死去した柴田巖の遺稿。「各地の例会
紹介」は詳しく、参考になる。

*NOVA VOJO: N-ro 461 aprilo 2010,
EPA、A5 X32頁中E文は6頁。巻頭言
「エスペラントで心の通う交流を/田
中雅道」で、ブラジルで紙を買おうと
「ペーパー」といっても通じず、パペ
ーロと言ってみたらすぐ通じた、と。
南米ではE.の方がよく通ずるようだ。
EPA 認定試験合格者に浜口佳壽子、購
読会員に柴田陽子、近藤亀寿と、北海
道関係者が出ている。「Afanti と附
子」は狂言の「附子」と、中国新疆ウ
ィグル族などに伝わる Afanti 物語の
"Veneno"の類似の指摘。「主要国首脳
会議(G8)の同時通訳システム」による
と日本語だけは英語を仲介して通訳さ
れるので言語的に不利で誤訳される可
能性も多いらしい。

*Novajoj Tamtamas:/N-ro 248/apri-

lo 2010, JER発行、A4X4頁、全文 E.
手書きタイトルは"Novajo Tamtamas",
はて-Kial? ハイチ大地震記事と写真
、eseas hama-rondano はヤマサキセ
イコーの英語国民にはわからぬ日本人
の「キャリア」、kontraŭ kancero
luktanta Yamazaki の Vivo en la
dezertlando(連載中)。

*La Tamtamo: 第420 号, 2010年4月
号, A4X8頁、JER発行、日本文。昨年の
日本E大会の記念品「新ザメンホフ読
本」出版のいきさつ、読後の感想など
が4頁(読書会報告)。4月24日かな
がわ県民活動センターでの「映像神奈
川」主催の上映会では大型スクリー
でエスペラントの歌 (Mia Birdo)が公
開される。

*La Movado; KLEG 発行、N-ro 711
majo 2010, B5 X16 頁の内E.文3頁。
巻頭の「エスペラントふれあい旅行/
あらいとしのぶ」は2008年春、UEA の
堀理事との同伴旅行の記録。Eで俳句
を作る「モバード俳壇」は連載24回、
この号では力作20句。

Ĉu ni povos trovi "ian medikamenton, kiu ridigas nin laŭte"?

われわれを大笑いさせるような薬を見つける事が出来るかな?

Haruhisa Sirahama/白濱晴久

Troviĝas Fungo, kiu nomiĝas "rid-
egiga fungo". Oni diris antaŭ longa

「おおわらいたけ」というきのこが
あります。そのきのこを食べた人は大

tempo, ke la fungo ridegigas nin, kiam ni manĝas ĝin. Vi povas legi pri geviroj, kies ridego ne haltis post manĝo de tiuj fungoj en la rakonto "Konjaku monogatari"

Do, mi kaj miaj kunuloj ekstudis ĝian ingrediencon de rido antaŭ longe. Mi ne sciis komence rimedon por ekzameno de efiko al animalo. Ĉar mi mem ne emis manĝi ĝin kaj freneziĝi, mi enŝovis muelitan fungon tra vinil-tubo rekte en stomakon de kato, kiun sanitarejo kaptis. Sed nenio okazis al la kato.

Tiutempe unu trudema studento esploris tiun ĉi problemon kun mi. Li faris kukojn, unuj entenis la fungojn kaj aliaj ne. Li intendis manĝigi ilin al simioj en zoologia ĝardeno.

Sed la simioj estis pli saĝaj ol homoj. Ili forjetis kukojn kun fungo kaj manĝis nur sanajn, malgraŭ ni ne povis distingi ilin.

Mi ne aŭdis lian malprudentan provon kaj li unue parolis tiun ĉi ekzamenon en publikiga kunsido de studo por diplomigo. Mi kompreneble miris se la simioj estus malsanigitaj kaj lia maltrafo de provo

smiすると昔から言われていました。

「今昔物語」には、それを食べて笑いが止まらなくなった人達の話が載っています。

そこで、ずっと昔、私たちはそのキノコの笑いの素を調べ始めました。私は初め笑いの効果を動物で試す方法がわかりませんでした。しかし、私自身がそれを食べて気が狂うのは気が進まなかったので、保健所か捕まえた野良猫の胃にビニルチューブを通して、潰して砕いたキノコを直接押し込んで見ましたが、猫にはなんの変化も起きませんでした。

その頃私の研究室では、ある強引な学生がこの問題を担当していました。彼はキノコが入っている団子と入っていないのを作り、それを動物園のサルに食べさせようと思いました。

しかし、サルは人より賢くて、われわれは全く区別出来ない団子を容易に見分け、キノコの入ったものは放り投げ、入っていないものだけ食べたそうです。

私はそんな無分別な試験に付いて全く聞いておらず、彼の卒業研究発表会で初めて聞かされたのです。私は当然もしそれを食べて猿が病気になっていたらとびっくりし、それが無事だった事に安堵しましたが、

trankviligis min. Dum aliflanke tio iomete desapontis min.

Cetere la studento, kiu parolis tiun ĉi studon ekridegis laŭte mem kaŭze de sia parolado en la kunsido kaj ne povis haltigi sian ridegon. Do aŭdantaro komprenis, ke la fungo estas ja vera ridegiga fungo.

Intertempe mi ekstudis nervekscitajon de alia fungo kaj rimarkis ke la ingredienco de rido devas esti ankaŭ nervekscitajo. Ĝi efektive eksцитis spinajn nervojn de rato kaj estis malkovrita, ke amara materio el la rid-fungo montris fortan nervekscitecon. Tiu amara materio ŝajnis kaŭzi homaran ridegon.

Ni nomis tiun amaran materion *Gymnopilin* laŭ latina nomo de la fungo "*Gymnopilus spectabilis*". Ĝi estas miksaĵo de kelke da materioj el diversaj esteroj kun longaj ĉenoj de poliisoprenoloj.

Ni penis izoli kaj elpurigi ĉiujn materiojn kaj ekzamenis tiujn por scii, kiu estas la plej forte eksцитema. Se ni klarigus la mekanismon de eksцитeco, mi volus fabriki multe da ridegiga materio kaj disĵeti ĝin for de la ĉielo. Ĉar la materio ridegus ĉiujn homojn, tio estus la plej bona movado, kiu heligus la mondon.

一方では実験の不成功にがっかりもしました。

しかし、その実験の話をしていた学生は自分の話がおかしくて笑い出し止らなくなったので、聴衆は計らずもそのキノコが真に大笑いさせるキノコであることを理解しました。

その間、私は他のキノコの神経興奮性物質を調べていましたが、笑いの素はやはり神経興奮物質ではないかと気が付きました。試してみると果たして笑いキノコの成分はネズミの脊柱神経を強く興奮させることがわかり、それはそのキノコの苦み成分であることがわかりました。その成分が人を笑わせているのかもしれません。

われわれはその苦味物質を、キノコの名前 *Gymnopilus spectabilis* に因んで *Gymnopilin* と名付けました。それは長いポリイソプレノールの鎖をもった色々なエステル混合物でした。

われわれはそれぞれの物質を取り出して純粋なものにし、どれが強い神経興奮性を持っているのかテストしました。もし、われわれが神経を興奮させる機構を解明出来たならば笑わせる物質を大量に作って空から撒きたいと思います。そうすればその物質はすべての人を大笑いさせるでしょうから、世の中を明るくする最も良い運動になるでしょう。

〔第3回委員会報告〕 Protokolo de la 3-a Komitato Kunsido

日時：2010年 2月13日（土）13：～

場所：札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階打合せコーナー

出席：阿部、川合、後藤義治、後藤純子、椿曜子、横山、星田（記録）

欠席：佐藤不二雄、椿正一、中田、大山口

議事

*組織： 退会1名：S-ro 岩井正久（函館, JEI-ano）

会員、元会員の計報が時々あるが、少なくとも会費を納入していた会員に対しては弔電・弔辞を考えよう。現在機関誌を受け取っている会員54名。

*財政： 大会会計報告を作成する（機関誌次号に載せる）。

*広報（HP）： プロバイダ契約を 現在の個人名（横山）から法人契約に変える。 98年11月以来のアクセス累計 64224、12月以来2ヵ月で 556件。

*メールマガジン： 135 号読者 1030（前号は1015）、語学（入門）講座の影響か。時々反応あり。月初めの金曜日発行、その前の月曜日が原稿締切り。

*情報・宣伝： 初夏合宿、春の講習会へ向けてPRを心がけよう。沼津エスペラント会のパンフ等を準備する。

*教育・研究： 札幌E会（SES）の新人受講者6人のうち2人（Ges-roj 加賀谷）は2月末から世界旅行に出発。残る4人のうち2人は月2回、2人は月4回。なお、SES は2\27 総会の予定。役員任期を2年とする。

苫小牧E会（TES）では従来通り、Vojag'o en Esperanto-landoを読んでいる。

*図書： JEI から Ainaj Jukaroj 10 部の注文あり、ものは佐藤英治さん宅の書庫にあるので彼にエックスパックを送り、それに入れて送ってもらうことにしたが不着とのこと、横山委員が代行してJEI へ『Ainaj Jukaroj 』10部を発送。

*機関誌： 2月13日 Heroldo de HEL No.128 発行（120 部）。会員に適当なテーマで原稿募集、依頼を考えてはどうか。

*年間計画：初夏合宿

昨年まで使った札幌市西野の柴田内科循環器科の研修所、5月中の予定が詰まってきた使えるのは6月になる。プログラム内容は次回委員会で決定。早めに内容をを決め連絡、PR、マスコミ対策にかかりましょう。

時期：6月5～6日（土・日）

講師：入門は星田、会話は S-ro Sergej ANIKEJEV に研究教育部長から依頼。

初級講師は樺山さんから「preta」と連絡あり。

*年間計画：北海道大会

10月2-3 日、かでの2・7を予定、（後の経過：4月3日申し込んだ、参加者が60%65歳以上なら会場費1万6千いくらかが無料?）

*年間計画：世界大会（Habana/Kubo） S-ro 椿、参加予定。

*2012年日本大会（北海道）LKK（組織委員会）

HEL, SES の役員のまわりに有志、適任者の参加を呼びかける。

初夏合宿の機会に第1回の会合を行いたい。

*追記：昨2009年の第73回北海道E大会（札幌）決算報告（単位は円）

大会参加費収入： 67000 参加21名 不在参加2名

支出：会場費 27100，謝礼代 45180，コピー代 2010，お菓子代 1117，
郵便代 3440，支出計 78847
収入－支出＝67000－78847＝－11847 以上です。椿 曜子（会計担当）

＊次回委員会

4月17日13時から 札幌エルプラザ2階打合せコーナー にて

なお この日10時から 同じ場所で機関誌印刷作業を予定。

（のち都合により1週間遅らせ4月24日に変更した）

〔編集後記/Redaktanto parolas ...〕

＊初夏合宿が近づきます。おもしろい（効果的な）学習、練習の提案をどうぞ。

＊HEL ホームページアドレス(URL)が、

<http://www5d.biglobe.ne.jp/hel/jp/index-j.htm>

から、

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index-j.htm>

に変わりました、

＊計報：元小樽Esp. 協会員、HEL-ano だった早坂基さん（札幌市白石区）、1月22日、不帰の客に。最近「岩手の民衆史」で封建制の下での歴史を調査。「アテルイは蝦夷（東北アイヌ？）の英雄」、「『坂の上の雲』は民衆の歴史でなく、立身出世する人達の物語」など いろいろ教えられました。

北海道エスペラント連盟 会費／年

正会員 3000円、購読会員 2000円、家族会員 1000円

会費振込みについてのお願い

会費振込みを郵便局窓口から郵便局ATM機で振込みを変更していただくと、振込手数料が120円が80円になります。会費支払いを、会員が行事参加の時、または役員に直接預けていただくと手数料が0円になります。振込手数料は会計支出になりますので御協力お願いいたします。

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO(HEL)

＊Redakcio

ĉe HOŜIDA Acuŝi

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI

053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS:0144-74-2539

Retadreso:hosidaacusi@kir.biglobe.ne.jp

＊Poŝtgirkonto（郵便振替）：02700-6-17075

＊Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 45, Simin-Katudo-Sapoto-Senta

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

TEL : 0126-62-4636

Retadreso : nordano@sea.plala.or.jp

＊TTT-ejo : <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index-j.htm>

北海道エスペラント連盟

＊機関誌編集

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町2丁目18-18

星田 淳 方

＊事務局：川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北8条西3丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター レーケースNo.45